

IV 特別事業報告

IV特別事業報告

1. 研究業績一覧

1)学会発表

平成 26 年度

1. 松永仁恵、田部勝也、太田康晴、**奥屋 茂**、谷澤幸生:日本における Wolfram 症候群の実態解明、平成 26 年 4 月 11~13 日、第 111 回日本内科学会総会(東京国際フォーラム)
2. **奥屋 茂**、有好香子、松永仁恵、永尾優子、野見山隆太、竹田孔明、谷澤幸生:頸動脈プラークスコア(PS)は2型糖尿病患者における脳心血管(CVD)イベントの有用な指標となる可能性がある、第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会、平成 26 年 5 月 22 日~24 日(大阪)
3. 永尾優子、田口昭彦、太田康晴、**奥屋 茂**、谷澤幸生:3種類の DPP 阻害薬の使用状況および血糖改善に寄与する因子の検討、第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会、平成 26 年 5 月 22~24 日(大阪国際会議場)
4. **山本 直樹**、山崎 隆弘、佐伯 一成、高見 太郎、藤澤 浩一、内田 耕一、寺井 崇二、坂井田 功:次世代型経口鉄キレート剤は再発予防剤およびソラフェニブの副作用軽減剤となりうる。第 50 回日本肝臓学会総会(2014 年 5 月 東京)
5. 松田 崇史、高見 太郎、石川 剛、**山本 直樹**、寺井 崇二、坂井田 功:培養自己骨髄間葉系幹細胞投与の安全性・有効性および投与経路評価のためのイヌ肝線維化モデル。第 50 回日本肝臓学会総会(2014 年 5 月 東京)
6. 白築 祥吾、寺井 崇二、村田 泰彦、松田 崇史 石川 剛、高見 太郎、**山本 直樹**、坂井田 功:骨髄由来及び脂肪組織由来間葉系幹細胞(BMSC・ASC)における生物学的特性の差異に関する検討。第 50 回日本肝臓学会総会(2014 年 5 月 東京)
7. **T Matsubara**, K Matsuo, M Nakashima, K Harada, M Nakano, K Egashira, T Watanuki, Y Watanabe Morphometric Abnormalities in Unaffected First-degree Relatives of Mood Disorders. 69th Society of Biological Psychiatry, 2014, May, N.Y.
8. **山本 直樹**、山崎 隆弘、佐伯 一成、高見 太郎、藤澤 浩一、内田 耕一、寺井 崇二、坂井田 功:鉄キレート剤による肝線維化・肝発癌抑制効果の検討。第 50 回日本肝臓学会(2014 年 6 月 京都)
9. 高見 太郎、寺井 崇二、藤澤 浩一、**山本 直樹**、坂井田 功:培養骨髄間葉系細胞投与による肝臓再生機序の検討 第 13 回日本再生医療学会総会。(2014 年 7 月 京都)
10. **松原敏郎**:術後せん妄とスガマデクス、第 17 回日本高齢消化器病学会、ランチョンセミナー2014 年 7 月、ANA クラウンプラザホテル宇部
11. **松原敏郎**、松尾幸治、原田健一郎、中島麻美、綿貫俊夫、渡邊義文:近赤外線スペクトロスコピー検査(NIRS)を用いた高齢者うつ病における脳機能の検討、第 11 回日本うつ病学会、2014 年 7 月、広島
12. Taro Takami, Shuji Terai, Luiz Fernando Quintanilha, Koichi Fujisawa, **Naoki Yamamoto**, Isao Sakaida: Less invasive liver regeneration therapy for liver cirrhosis using cultured autologous bone marrow-derived mesenchymal stem cells. FASEB meeting 2014 8 月 Keystone USA
13. 梅本智子、森福織江、藤勝綾香、原田有希子、中原敦子、小林久美、平野 均、森本宏志、**山本直樹**、**奥屋 茂**:大学生の睡眠習慣、朝食摂取状況と体重変化との関連性、第 44 回中国四国大学保健管理研究集会、口演、松江市、2014 年 8 月 28 日
14. 森福織江、梅本智子、藤勝綾香、原田有希子、中原敦子、小林久美、波多野弘美、**山本なるみ**、平野 均、森本宏志、**山本直樹**、**奥屋 茂**:山口大学学生定期健康診断受診率向上への取り組みー外国人留学生への対応を中心にー、第 44 回中国四国保健管理研究集会、口演、松江市、2014 年 8 月 29 日
15. 中原敦子、森本宏志、波多野弘美、梅本智子、森福織江、小林久美、藤勝綾香、**山本直樹**、平野 均、**奥屋 茂**:喫煙アンケートによる教育効果について、第 44 回中国四国大学保健管理研究集会、口演、松江市、2014 年 8 月 28 日
16. 森本宏志、中原敦子、梅本智子、小林久美、森福織江、**山本直樹**、平野 均、**奥屋 茂**:国立大学法人化後 10 年の健康診断受診率の推移と健康診断の位置づけについて、第 44 回中国四国大学保健管理研究集会、口演、松江市、2014 年 8 月 29 日

17. **松原敏郎**, 松尾幸治, 原田健一郎, 中島麻美, 中野雅之, 綿貫俊夫, 渡邊義文:寛解状態の気分障害患者における情動顔刺激に対する脳血流動態変化の検討, 第 36 回日本生物学的精神神経医学会,2014 年 9 月,奈良
18. 森本宏志, 中原敦子, 梅本智子, 小林久美, 森福織江, 藤勝綾香, 山本直樹, 奥屋 茂: 大学職員に対するメンタルヘルスアンケートの実施と今後の在り方について, 第 52 回全国大学保健管理研究集会、ポスター、東京都港区(慶應義塾大学三田キャンパス)、2014 年 9 月 3~4 日
19. 山本直樹, 梅本智子, 森福織江, 藤勝綾香, 中原敦子, 小林久美, 原田有希子, 波多野弘美, 平野 均, 森本宏志, 奥屋 茂: 職員定期健康診断での生活習慣病の経年的変化と傾向, 第 52 回全国大学保健管理研究集会、ポスター、東京都港区(慶應義塾大学三田キャンパス)、2014 年 9 月 3~4 日
20. **Okuya S**, Ariyoshi K, Matsunaga K, Nagao Y, Nomiyama R, Takeda K, Tanizawa Y: Plaque score of ultrasound analysis of carotid arteries is a useful reference index for cerebro-cardiovascular events in patients with type 2 diabetes, 9th Metabolic Syndrome, Type 2 Diabetes and Atherosclerosis Congress, Sep 12-14 2014, Kyoto
21. 佐々木順, **松原敏郎**, 渡邊義文: 退院時 BMI が予後良好の指標であった慢性期神経性無食欲症の一例, 第 55 回中国・四国精神神経学会, 2014 年 10 月, 下関市
22. 松田敦子, **松原敏郎**, 松尾幸治, 渡邊義文: うつ病患者の受療行動の変化および内科プライマリケア医のうつ状態・うつ病に対する意識についての調査, 第 55 回中国・四国精神神経学会, 2014 年 10 月, 下関市
23. 秋山 優, 野見山隆太, 竹田孔明, **奥屋 茂**, 谷澤幸生: 皮下硬結による著しいインスリン吸収障害を合併した緩徐進行1型糖尿病の1例, 第 52 回日本糖尿病学会中国四国地方会、平成 26 年 10 月 24~25 日(リーガロイヤルホテル広島)
24. 久保明日香, **松原敏郎**, 松尾幸治, 渡邊義文: うつ状態のあと, DLB が疑われた 2 症例, 第 34 回日本精神科診断学会, 2014 年 11 月, 愛媛市
25. **Naoki Yamamoto**, Shuji Terai, Isao Sakaida.: Maid is a specific guardian gene to regulate DNA damage in liver fibrosis and hepatocarcinogenesis JDDW International Sympo Session-2 2014, 11 月 Mechanisms of hepatic and pancreatic fibrosis Clinical implications
26. Takashi Matsuda, Taro Takami, Tsuyoshi Ishikawa, Naoki Yamamoto, Shuji Terai, **Naoki Yamamoto**, Isao Sakaida.: New canine liver cirrhotic model to develop a less invasive regeneration therapy using cultured autologous bone marrow-derived cells. The 65th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases(AASLD) 2014 11 月 Boston USA
27. Taro Takami, Shuji Terai, Bruno Diaz Paredes, Luiz Fernando Quintanilha, Koichi Fujisawa, **Naoki Yamamoto**, Isao Sakaida.: Less invasive liver regeneration therapy for liver cirrhosis using cultured autologous bone marrow-derived mesenchymal stem cells with redox-regulatory capacity. The 65th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases(AASLD) 2014 11 月 Boston USA
28. **Naoki Yamamoto**, Taro Takami, Koichi Uchida, Koichi Fujisawa, Toshihiko Matsumoto, Isao Sakaida: Infused bone marrow derived cells have two capacities that phagocytosis of damaged cells and repair of fibrosis in mice. The 65th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases(AASLD) 2014 11 月 Boston USA
29. **山本 直樹**, 寺井 崇二, 高見 太郎, 藤澤 浩一, 内田 耕一, 仁科 博史, 坂井田 功 : 肝臓線維化における骨髄由来肝臓修復細胞の特徴. 第 14 回日本再生医療学会総会 (2015 年 3 月 横浜)
30. 荻野有香, **松原敏郎**, 渡邊義文: 身体的不定愁訴を訴え初診 1 ヶ月後に幻覚妄想状態が顕在化した統合失調症の一例, 第 15 回中国地区総合病院研究会, 2015 年 3 月, 広島市

平成 27 年度

1. **T Matsubara**, K Matsuo, K Harada, M Nakashima, M Nakano, M Hirotsu, K Hirata, N Higuchi, T Watanuki, F Higuchi, T Shibata, T Hobara, H Yamagata, Y Watanabe: Different fronto-temporal activation during an emotional words task in patients with uni-polar and bipolar depression: A functional near-infrared spectroscopy study, 2015.5.14-16 Society of Biological Psychiatry, in Toronto

2. Harada K, Matsuo K, Yamagata H, Nakashima M, Nakano M, Higuchi N, Higuchi F, Hobara T, Otsuki K, Shibata T, Watanuki T, Ueda K, Furukawa M, Fukunaga M, Fujita Y, Shimoji K, **Matsubara T**, Matsunaga N, Watanabe Y: Reduced gray-matter volume of fronto-temporal cortex in patients with late-late depression 2015.5.14-16 Society of Biological Psychiatry, in Toronto
3. 香川正太、田部勝也、椎木幾久子、幡中雅行、福田尚文、**奥屋 茂**、谷澤幸生:糖質制限は老化ブローンSAMP8において白色脂肪褐色化と個体の消耗を促進する、第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会、平成 27 年 5 月 21~24 日(下関)
4. 有好香子、**奥屋 茂**、永尾優子、野見山隆太、竹田孔明、松永仁恵、谷澤幸生:頸動脈のプラークスコア(PS)やプラーク輝度を表すグレースケール中央値(GSM)は2型糖尿病患者脳心血管事象の指標となる、第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会、平成 27 年 5 月 21~24 日(下関)
5. 浅江文枝、**奥屋 茂**、下瀬茂美、宇都宮淑子、野見山隆太、谷澤幸生:山口大学医学部附属病院第三内科外来に糖尿病で通院中の高齢糖尿病患者における認知機能低下の現状調査と関連因子の検討、第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会、平成 27 年 5 月 21~24 日(下関)
6. **山本 直樹**、高見 太郎、藤澤 浩一、松本 俊彦、内田 耕一、寺井 崇二、坂井田 功:新規 SGLT2(Sodium-Glucose Co-Transporter2)阻害剤の肝線維化抑制効果の基礎的検討。第 51 回日本肝臓学会総会(2015 年 5 月 熊本)
7. **山本 直樹**、高見 太郎、藤澤 浩一、松本 俊彦、内田 耕一、寺井 崇二、坂井田 功:レボカルニチンによる NAFLD 治療効果の基礎的検討。第 51 回日本肝臓学会総会 一般演題 (2015 年 5 月 熊本)
8. 松田 崇史、高見 太郎、石川 剛、**山本 直樹**、寺井 崇二、坂井田 功:肝硬変に対する培養自己骨髄間葉系幹細胞投与の開発のためのイヌ肝線維化モデル。第 51 回日本肝臓学会総会(2015 年 5 月 熊本)
9. 白築 祥吾、高見 太郎、藤澤 浩一、石川 剛、**山本 直樹**、坂井田 功:複数回投与非培養 ABMi 療法のための基礎研究。第 51 回日本肝臓学会総会(2015 年 5 月 熊本)
10. 松本 俊彦、高見 太郎、藤澤 浩一、**山本 直樹**、坂井田 功:形態制御による MMP 高発現線維溶解マクロファージの誘導についての検討。第 51 回日本肝臓学会総会(2015 年 5 月 熊本)
11. **Naoki Yamamoto**, Taro Takami, Shuji Terai, Koichi Uchida, Koichi Fujisawa, Toshihiko Matsumoto, Hiroshi Nishina, Isao Sakaida: Infused bone marrow derived cells have two capacities that phagocytosis of damaged cells and repair of fibrosis in mice. The 12th Annual Meeting of the International Society for Stem Cell Research (ISSCR) 2015 6 月 Stockholm Sweden.
12. Taro Takami, Shuji Terai, Bruno Diaz Paredes, Luiz Fernando Quintanilha, Koichi Fujisawa, **Naoki Yamamoto**, Isao Sakaida: Less invasive liver regeneration therapy for liver cirrhosis using cultured autologous bone marrow-derived mesenchymal stem cells with redox-regulatory capacity. The 12th Annual Meeting of the International Society for Stem Cell Research (ISSCR) 2015 6 月 Stockholm Sweden.
13. 佐々木順、**松原敏郎**、小杉孝司、渡邊義文:神経性無食欲症患者の退院時 Body Mass Index と退院後の予後との関係の検討、第 111 回日本精神神経学会学術総会、2015 年 6 月、大阪市
14. **奥屋 茂**、藤勝綾香、森福織江、梅本智子、中原敦子、小林久美、波多野弘美、松原敏郎、山本直樹、森本宏志:山口大学学部新入生における麻疹・風疹の罹患歴・ワクチン接種状況、第 45 回中国四国大学保健管理研究集会、口演、徳島市、2015 年 8 月 28 日
15. 森福織江、梅本智子、藤勝綾香、原田有希子、中原敦子、小林久美、山本なるみ、波多野弘美、松原敏郎、山本直樹、森本宏志、**奥屋 茂**:学生定期健康診断受診率向上への取り組みー入学時から未受診および 3 年以上未受診学生への対応ー。第 45 回中国四国保健管理研究集会、口演、徳島市、2015 年 8 月 27 日
16. 山本直樹、**奥屋 茂**、梅本智子、森福織江、藤勝綾香、中原敦子、原田有希子、波多野弘美、平野 均、森本宏志:大学職員定期健康診断での生活習慣病の経年的変化と予防対策、第 53 回全国大学保健管理研究集会、ポスター、岩手県盛岡市、2015 年 9 月 9~10 日
17. **奥屋 茂**、山本直樹、藤勝綾香、梅本智子、森福織江、中原敦子、小林久美、山本なるみ、松原敏郎、森本宏志:山口大学喫煙対策の現状と課題ー学生喫煙率調査を基にー、第 53 回全国大学保健管理研究集会、ポスター、岩手

県盛岡市、2015年9月9～10日

18. 森本宏志、中原敦子、梅本智子、小林久美、森福織江、藤勝綾香、山本直樹、松原敏郎、奥屋 茂:労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度への対応と今後の在り方について、第53回全国大学保健管理研究集会、ポスター、岩手県盛岡市、2015年9月9～10日
19. **Naoki Yamamoto**, Taro Takami, Koichi Fujisawa, Issei Saeki, Toshihiko Matsumoto, Koichi Uchida, Isao Sakaida: L-carnitine prevents liver fibrosis and preneoplastic lesions in rat liver cirrhosis model induced by a choline-deficient L-amino acid-defined diet (CDAA) and Diethylnitrosamine (DEN) The 23th United European Gastroenterology Week (UEGW /Gastro 2015) 10月 Barcelona Spain.
20. 佐々木順、**松原敏郎**、渡邊義文: 抗うつ薬で増悪した妄想にECTが著効した高齢発症うつ病の1例, 第16回中国地区総合病院精神医学会, 2015年10月, 広島市
21. 香川正太、田部勝也、椎木幾久子、幡中雅行、福田尚文、**奥屋 茂**、谷澤幸生: 糖質制限は加齢において白色脂肪の褐色化を惹起し骨格筋の萎縮を増悪する、第30回日本糖尿病合併症学会、平成27年11月27・28日(愛知県)
22. **Naoki Yamamoto**, Taro Takami, Koichi Uchida, Koichi Fujisawa, Toshihiko Matsumoto, Isao Sakaida: Infused bone marrow derived cells have two capacities that phagocytosis of damaged cells and repair of fibrosis in mice. The 66th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases(AASLD) 2015 11月 San Francisco USA
23. Takashi Matsuda, Taro Takami, Tsuyoshi Ishikawa, Naoki Yamamoto, Shuji Terai, **Naoki Yamamoto**, Isao Sakaida. New canine liver cirrhotic model to develop a less invasive regeneration therapy using cultured autologous bone marrow-derived cells. The 66th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases(AASLD) 2015 11月 San Francisco USA
24. **Naoki Yamamoto**, Taro Takami, Koichi Fujisawa, Issei Saeki, Toshihiko Matsumoto, Koichi Uchida, Isao Sakaida: L-carnitine prevents liver fibrosis and preneoplastic lesions in rat liver cirrhosis model induced by a choline-deficient L-amino acid-defined diet (CDAA) and Diethylnitrosamine (DEN) The 25th Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL 2016) 2月 Tokyo Japan .
25. **Naoki Yamamoto**, Taro Takami, Koichi Fujisawa, Issei Saeki, Toshihiko Matsumoto, Koichi Uchida, Isao Sakaida: The new drug, SGLT2-inhibitor prevents liver fibrosis and preneoplastic lesions in rat liver cirrhosis model induced by a choline-deficient L-amino acid-defined diet (CDAA) and Diethylnitrosamine (DEN) The 25th Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL 2016) 2月 Tokyo Japan
26. 荻野有香、**松原敏郎**、綿貫俊夫、渡邊義文: 統合失調症との鑑別に苦慮した広汎性発達障害の併存を疑った強迫性障害の1例, 第17回中国地区総合病院精神医学会, 2016年3月, 広島市

2) 論文・執筆

平成26年度

1. 奥屋 茂、他: 改訂第6版 糖尿病専門医研修ガイドブック 日本糖尿病学会編・著 「 α -グルコシダーゼ阻害薬」診断と治療社 p.219-221, 2014年
2. 奥屋 茂、他: 糖尿病療養指導ガイドブック 2014 日本糖尿病療養指導士認定機構編 「合併症・併存疾患の治療・療養指導」メディカルレビュー社 p.139-174, 2014年
3. 藤澤 浩一、高見 太郎、**山本 直樹**、寺井 崇二、坂井田 功 AK4による発癌と酸化ストレス抑制の機序: G.I. Research 2014 先端医学社 22(4) 365-366
4. **Matsubara T**, Matsuo K, Nakashima M, Nakano M, Harada K, Watanuki T, Egashira K, Watanabe Y: Prefrontal activation in response to emotional words in patients with bipolar disorder and major depressive disorder. Neuroimage 85, 489-97, 2014
5. Nakano M, Matsuo K, Nakashima M, **Matsubara T**, Harada K, Egashira K, Masaki H, Takahashi K, Watanabe Y: Gray matter volume and rapid decision-making in major depressive disorder. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 48, 51-6, 2014

6. 綿貫 俊夫, 松原 敏郎, 樋口 尚子, 樋口 文宏, 井上 宏治, 大土 広将, 鶴田 良介, 渡邊 義文:長期にわたる高気圧酸素療法(HBO)により重度の認知機能障害からの回復が可能であった間歇型一酸化炭素(CO)中毒症の 3 例に関する臨床的検討, 精神神経学雑誌 116, 659-669, 2014.
7. Zaitu J, Yamasaki T, Saeki I, Harima Y, Iwamoto T, Harima Y, Matsumoto T, Urata Y, Hidaka I, Marumoto Y, Ishikawa T, Takami T, **Yamamoto N**, Kaino S, Uchida K, Terai S, Sakaida I: Serum transferrin as a predictor of prognosis for hepatic arterial infusion chemotherapy in advanced hepatocellular carcinoma. **Hepatol Res.** 2014 May;44(5):481-90.
8. Terai S, Takami T, **Yamamoto N**, Fujisawa K, Ishikawa T, Urata Y, Tanimoto H, Iwamoto T, Mizunaga Y, Matsuda T, Oono T, Marumoto M, Burganova G, Fernando Quintanilha L, Hidaka I, Marumoto Y, Saeki I, Uchida K, Yamasaki T, Tani K, Taura Y, Fujii Y, Nishina H, Okita K, Sakaida I: Status and prospects of liver cirrhosis treatment by using bone marrow-derived cells and mesenchymal cells. **Tissue Eng Part B Rev.** 2014 Jun;20(3):206-10
9. 梅本智子, 森福織江, 藤勝綾香, 原田有希子, 中原敦子, 小林久美, 平野 均, 森本宏志, 山本直樹, 奥屋 茂: 大学生の睡眠習慣、朝食摂取状況と体重変化との関連性. 第 44 回中国四国大学保健管理研究集会報告書, 63-67, 2014.
10. 森福織江, 梅本智子, 藤勝綾香, 原田有希子, 中原敦子, 小林久美, 波多野弘美, 山本なるみ, 平野 均, 森本宏志, 山本直樹, 奥屋 茂: 山口大学学生定期健康診断受診率向上への取り組みー外国人留学生への対応を中心にー, 第 44 回中国四国大学等保健管理研究集会報告書, 87-91, 2014
11. 中原敦子, 森本宏志, 波多野弘美, 梅本智子, 森福織江, 小林久美, 藤勝綾香, 山本直樹, 平野 均, 奥屋 茂: 喫煙アンケートによる教育効果について, 第 44 回中国四国大学等保健管理研究集会報告書, 41-45, 2014
12. 森本宏志, 中原敦子, 梅本智子, 小林久美, 森福織江, 山本直樹, 平野 均, 奥屋 茂: 国立大学法人化後 10 年の健康診断受診率の推移と健康診断の位置づけについて, 第 44 回中国四国大学等保健管理研究集会報告書, 92-96, 2014
13. Matsunaga K, Tanabe K, Inoue H, **Okuya S**, Ohta Y, Akiyama M, Taguchi A, Kora Y, Okayama N, Yamada Y, Wada Y, Amemiya S, Sugihara S, Nakao Y, Oka Y, Tanizawa Y: Wolfram syndrome in the Japanese population; molecular analysis of WFS1 gene and characterization of clinical features. **PLoS One.** 2014 Sep 11;9(9):e106906. doi: 10.1371/journal.pone.0106906
14. Quintanilha LF, Takami T, Hirose Y, Fujisawa K, Murata Y, **Yamamoto N**, Goldenberg RC, Terai S, Sakaida I: Canine mesenchymal stem cells show antioxidant properties against thioacetamide-induced liver injury in vitro and in vivo. **Hepatol Res.** 2014 Oct;44(10):E206-17.
15. Shiratsuki S, Terai S, Murata Y, Takami T, **Yamamoto N**, Fujisawa K, Burganova G, Quintanilha LF, Sakaida I: Enhanced survival of mice infused with bone marrow-derived as compared with adipose-derived mesenchymal stem cells. **Hepatol Res.** 2015 Feb;45(2):466-70.
16. 山本直樹, 梅本智子, 森福織江, 藤勝綾香, 原田有希子, 中原敦子, 小林久美, 波多野弘美, 平野 均, 森本宏志, 奥屋 茂: 職員定期健康診断での生活習慣病の経年的変化と傾向. CAMPUS HEALTH 52(1) , 119-120, 2015年3月
17. 森本宏志, 中原敦子, 梅本智子, 小林久美, 森福織江, 藤勝綾香, 山本直樹, 奥屋 茂: 大学職員に対するメンタルヘルスアンケートの実施と今後の在り方について, CAMPUS HEALTH 52(1), 309-311, 2015年3月
18. 藤勝綾香, 梅本智子, 森福織江, 中原敦子, 小林久美, 森本宏志, 山本直樹, 奥屋 茂: 山口大学喫煙対策の現状と課題ー学生喫煙率調査を基にー. 大学教育(12), 73-78, 2015年3月
19. 奥田昌之, 森本宏志, 小野みさ江: 地域職域連携による高齢労働者のための継続した健康づくり体制について, (山口産業保健総合支援センター、平成 26 年度産業保健調査研究報告書)、2015年3月
20. 名古屋俊士, 荻野博幸, 田代宏, 田村三樹夫, 橋本晴男, 保利一, 松尾亜弓, 森洋, 森本宏志, 山本仁: 平成26年度研究機関等作業環境実態把握業務報告書(厚生労働省委託事業、(公社)作業環境測定協会)、2015年3月

平成 27 年度

1. 奥屋 茂、他:糖尿病療養指導ガイドブック 2015 日本糖尿病療養指導士認定機構編「合併症・併存疾患の治療・療養指導」メディカルレビュー社 p.147-182, 2015 年
2. 奥屋 茂、他:Diabetes Care Vol.38 p.610-619, 2015 年のコメント
3. Egashira K, Matsuo K, Nakashima M, Watanuki T, Harada K, Nakano M, **Matsubara T**, Takahashi K, Watanabe Y:Blunted brain activation in patients with schizophrenia in re-sponse to emotional cognitive inhibition: a functionalnear-infrared spectroscopy study. Schizophr Res 162, 196-204, 2015.
4. **松原敏郎**, 芳原輝之, 渡邊義文:術後せん妄の既往があるせん妄ハイリスク患者に対する術前からのラメルテオン投与の試み, 精神医学 57, 359-362, 2015.
5. 井上 宏治, **松原 敏郎**, 松尾 幸治, 渡邊 義文:Chewing and Spitting に SSRI が奏効した神経性無食欲症の 1 例, 精神神経学雑誌 117, 327-332, 2015.
6. 松原敏郎, 渡邊義文:せん妄とスガマデクス, 日本高齢消化器病学会誌 17, 13-17, 2015.
7. Saeki I, Yamasaki T, Tanabe N, Iwamoto T, Matsumoto T, Urata Y, Hidaka I, Ishikawa T, Takami T, **Yamamoto N**, Uchida K, Terai S, Sakaida I:A new therapeutic assessment score for advanced hepatocellular carcinoma patients receiving hepatic arterial infusion chemotherapy. **PLoS One**. 2015 May 20;10(5):e0126649.
8. Fujisawa K, Terai S, Matsumoto T, Takami T, **Yamamoto N**, Nishina H, Furutani M, Sakaida I: Evidence for a Role of the Transcriptional Regulator Maid in Tumorigenesis and Aging. **PLoS One**. 2015 Jun 24;10(6):e0129950
9. **Naoki Yamamoto**, TakahiroYamasaki, Taro Takami,Toshihiko Matsumoto,Koichi Fujisawa, Issei Saeki, Koichi Uchida,Shuji Terai, Isao Sakaida:Deferasirox, an oral iron chelator, prevents hepatocarcinogenesis and adverse effects of sorafenib. **J Clin Biochem Nutr**. 2015 June; 58(3):202-9.
10. 森福織江、梅本智子、藤勝綾香、原田有希子、中原敦子、小林久美、山本なるみ、波多野弘美、松原敏郎、山本直樹、森本宏志、奥屋 茂:学生定期健康診断受診率向上への取り組みー入学時から未受診および 3 年以上未受診学生への対応ー、第 45 回中国四国大学等保健管理研究集会報告書、pp77-81、2015
11. 奥屋 茂、藤勝綾香、森福織江、梅本智子、中原敦子、小林久美、波多野弘美、松原敏郎、山本直樹、森本宏志:山口大学学部新生における麻疹・風疹の罹患歴・ワクチン接種状況、第 45 回中国四国大学等保健管理研究集会報告書、103-105、2015
12. 奥屋 茂、山本直樹、藤勝綾香、梅本智子、森福織江、中原敦子、小林久美、山本なるみ、松原敏郎、森本宏志:山口大学喫煙対策の現状と課題-学生喫煙率調査を基に-. CAMPUS HEALTH 53(1)、169-171、2016 年3月
13. 山本直樹、梅本智子、森福織江、藤勝綾香、中原敦子、小林久美、山本なるみ、波多野弘美、原田有希子、松原敏郎、森本宏志、奥屋 茂:大学職員定期健康診断での生活習慣病の経年的変化と予防対策、CAMPUS HEALTH 53(1)、146-148、2016 年3月
14. 森本宏志、中原敦子、梅本智子、小林久美、森福織江、藤勝綾香、山本直樹、松原敏郎、奥屋 茂:労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度への対応と今後の在り方について、CAMPUS HEALTH 53(1)、156-158、2016 年3月
15. Ariyoshi K, **Okuya S**, Kunitsugu I, Matsunaga K, Nagao Y, Nomiyama R, Takeda K, Tanizawa Y: Ultrasound analysis of gray-scale median value of carotid plaques is a useful reference index for cerebro-cardiovascular events in patients with type 2 diabetes. **J Diabetes Invest**. 2015; 6(1): 91-97.
16. 奥田昌之、森本宏志、足立明子:山口県内労働者の蓄積疲労とストレス状況実態調査(山口産業保健総合支援センター、平成27年度産業保健調査研究報告書)、2016 年 3 月
17. 森本宏志:生活リスクマネジメントの観点から考える「障害者差別解消法」対策 ～聴力障害対策としての手話学習の動機づけ要因を例に、大学教育(13)、38-57、2016 年 3 月
18. 小林久美:工学部のヒヤリハット.山口大学環境保全 No.31, pp.3-5, 2015

3) 特許

1. 特許第 5788527 号 平成 27 年 8 月 7 日 国際特許 WO2013081154A1
分岐鎖アミノ酸(BCAA)による分子標的薬ソラフェニブの副作用軽減効果 **山本 直樹** 坂井田 功
2. 特許願 2014-544316 国際特許 WO2014068972A1
Sorafenib の副作用低減作用 **山本 直樹** 山崎 隆弘 坂井田 功
3. 特許願 2014-189378 国際特許 申請中
間葉系幹細胞の活性評価方法、間葉系幹細胞の培養方法、肝機能障害用治療剤の製造方法および肝機能障害治療剤 藤澤 浩一 高見 太郎 **山本 直樹** 寺井 崇二 坂井田 功

2. 研究費等交付

保健管理センターでは、日常の保健管理業務に加え、受託研究費や科学研究費補助金等の交付を受けて教育的・社会的貢献の一環として研究活動も行っている。

1) 共同研究・受託研究

契約年月日	研究委託者	研究課題	研究経費	研究期間	研究者
H26.4.1	独立行政法人科学技術振興機構	肝硬変・肝不全に有用な骨髄由来 Nano-induced Stem Cell(Nao-iSC) 分離培養技術の臨床開発	50,000,000	～H27.3.31	代表:坂井田 功 講師:山本 直樹
H26.4.1	先端医療技術産業化研究事業	細胞治療技術の臨床研究	10,000,000	～H27.3.31	代表:坂井田 功 講師:山本 直樹
H26.4.1	文部科学省	国家基幹研究開発事業「再生医療の実現化プロジェクトハイウェイ」	150,000,000	～H27.3.31	代表:坂井田 功 講師:山本 直樹
H27.4.1	独立行政法人科学技術振興機構	肝硬変・肝不全に有用な骨髄由来 Nano-induced Stem Cell(Nao-iSC) 分離培養技術の臨床開発	50,000,000	～H28.3.31	代表:坂井田 功 講師:山本 直樹
H27.4.1	先端医療技術産業化研究事業	細胞治療技術の臨床研究	10,000,000	～H28.3.31	代表:坂井田 功 講師:山本 直樹
H27.4.1	文部科学省	国家基幹研究開発事業「再生医療の実現化プロジェクトハイウェイ」	150,000,000	～H28.3.31	代表:坂井田 功 講師:山本 直樹
H27.4.1	山口大学	骨髄由来肝臓修復細胞の形態同定と病態による細胞間相互作用解析	1,000,000	～H28.3.31	代表:山本 直樹 講師:山本 直樹

2) 科学研究費等補助金交付

年度	研究種目	課題番号	研究代表者	交付額	研究課題
H26	平成26年度財団法人日本糖尿病財団 Diabetes Masters Conference 研究助成		奥屋 茂 (研究分担者)	100万円	高齢糖尿病患者における認知機能低下の頻度と認知機能低下に関与するリスク因子の検討
H26	基盤研究(C)	24590978	代表:山本 直樹 講師:山本 直樹	1,820,000	小型骨髄由来肝修復細胞の形態解析と特異因子の探究
H26	基盤研究(C)	26461009	代表:高見 太郎 分担:山本 直樹	1,950,000	高機能培養骨髄間葉系幹細胞による高効率な実践的肝臓再生療法の開発研究
H26	基盤研究(C)	25460123	代表:橋本 真一 分担:山本 直樹	2,340,000	潰瘍性大腸炎の安全な寛解維持療法に対する漢方薬の有効性
H26	挑戦的萌芽研究	25670370	代表:寺井 崇二 分担:山本 直樹	1,820,000	肝クッパー細胞、新生血管リアルタイム観察モデルの開発
H26	基盤研究(B)	26293175	代表:寺井 崇二 分担:山本 直樹	5,200,000	次世代型スーパー肝線維化改善細胞を用いた肝臓再生療法開発への基盤研究
H26	基盤研究(C)	25450443	代表:谷 健二 分担:山本 直樹	1,690,000	犬の慢性肝障害に対する自己骨髄細胞移植療法の確立
H26-27	若手研究(B)	25861011	松原敏郎	3,800,000	NIRSを用いた realtime neurofeedback によるうつ病治療の開発
H27	基盤研究(C)	15K09005	代表:山本 直樹 講師:山本 直樹	1,560,000	骨髄由来肝臓修復細胞の同定
H27	基盤研究(C)	26461009	代表:高見 太郎 分担:山本 直樹	1,560,000	高機能培養骨髄間葉系幹細胞による高効率な実践的肝臓再生療法の開発研究
H27	基盤研究(B)	26293175	代表:寺井 崇二 分担:山本 直樹	5,200,000	次世代型スーパー肝線維化改善細胞を用いた肝臓再生療法開発への基盤研究
H27	基盤研究(C)	25460123	代表:橋本 真一 分担:山本 直樹	780,000	潰瘍性大腸炎の安全な寛解維持療法に対する漢方薬の有効性
H27	基盤研究(C)	25450443	代表:谷 健二 分担:山本 直樹	1,170,000	犬の慢性肝障害に対する自己骨髄細胞移植療法の確立

3. 講演その他

保健管理センターでは医師及び保健師が健康教育活動の一環として、学内及び学外からの依頼により、講演活動を行っている。

1)平成 26 年度 (H26. 4. 1～H27. 3. 31 の期間内)

年月日	講師	演題・テーマ	場所	参加人数	備考
H26.4.	保健管理センター 准教授 森本宏志	保健管理センターの利用方法 について	医学部M1講義室	100名	医学科新入生オリエンテーション
H26.4.4	保健管理センター 保健師 中原敦子	保健管理センターの利用方法 について	医学部総合研究棟 S1 講義室	130名	保健学科新入生オリエンテーション
H26.4.7	保健管理センター 保健師 中原敦子	保健管理センターの利用について 安全衛生・健康について	医学部総合研究棟 S3 講義室	80名	看護学専攻オリエンテーション
H26.4.8	保健管理センター 准教授 森本宏志	授業における安全衛生と TA・SAの責務について	山口大学事務局 2号館第2会議室	180名	山口大学共通教育 TA・SA研修会
H26.5.7	保健管理センター 准教授 森本宏志	安全衛生のABC	山口大学事務局 2号館第2会議室	30名	新規採用事務系職員研修会
H26.5.28	保健管理センター 保健師 小林久美	事故が起こった時の応急処置	山口大学工学部 C11 教室	195名	毒物劇物取扱講習会
H26.6.5	保健管理センター 保健師 森福織江	食中毒予防講話	共通教育 1 番教室	100名	七夕祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
H26.6.11	保健管理センター 准教授 森本宏志 保健師 中原敦子	山口大学の安全衛生状況と完全 衛生目標及び計画について (小串キャンパス)	山口大学医学部 総合研究棟1階 S1 講義室	80名	小串地区 安全衛生推進員 連絡会
H26.6.13	保健管理センター 准教授 森本宏志	衛生管理のための統計的手法 の基礎(講義)	山口産業保健総合 支援センター	20名	山口産業保健総合 支援センター 産業保健セミナー
H26.6.25	保健管理センター 保健師 梅本智子	事故が起こったときの応急処置	共通教育 2 番教室	30名	吉田地区化学物質取扱 講習会
H26.7.15	保健管理センター 教授 奥屋 茂	糖尿病と認知症との関連	山口グランドホテル	60名	糖尿病と認知症プロ ジェクト
H26.7.22	保健管理センター 教授 奥屋 茂	糖尿病治療薬アップデート～糖 尿病治療が変わる～	ANAクラウンプラザ ホテル宇部	90名	糖尿病治療薬薬剤 師セミナー
H26.8.31	保健管理センター 教授 奥屋 茂	慢性合併症Ⅱ	山口県総合保健会 館	150名	山口県糖尿病療養 指導士講習会
H26.9.5	保健管理センター 准教授 森本宏志	職場におけるメンタルヘルスと 自殺予防対策を考える ー安全衛生教育の側面からー	ココランド宇部	10名	山口産業保健総合 支援センター 産業保健セミナー
H26.9.29	保健管理センター 准教授 森本宏志	労働安全衛生について	山口大学医学部 霜仁会館	40名	山口大学新入教員 研修会
H26.10.3	保健管理センター 保健師 藤勝綾香	食中毒予防講話	保健管理センター 健康診断室	25名	姫山祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
H26.10.10	保健管理センター 准教授 森本宏志	衛生管理のための統計的手法 の基礎(演習)	山口産業保健総合 支援センター	20名	山口産業保健総合 支援センター 産業保健セミナー
H26.10.24	保健管理センター 保健師 小林久美	食中毒予防講話	山口大学工学部 E11 講義室	8 団体	常盤祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
H26.10.29	保健管理センター 教授 奥屋 茂	糖尿病と認知機能低下	徳山中央病院第2 会議室	25名	第 40 回周南糖尿病 勉強会
H26.11.1	保健管理センター 教授 奥屋 茂	新しいステージを迎えた糖尿病 医療ー司会進行	山口県医師会6階 会議室	120名	日医生涯教育協力 講座
H26.11.11	保健管理センター 教授 奥屋 茂	駅伝関係者のための簡易心肺 蘇生法	共通教育 1 番教室	36名	第 61 回学長杯争奪 駅伝大会前の救急 講習会
H26.12.12	保健管理センター 准教授 森本宏志	ライフキャリアとコーチングの観 点からみたメンタルヘルス対策	周南地域地場産業 振興センター	20名	山口産業保健総合 支援センター 産業保健セミナー

H27.1.28	保健管理センター 教授 奥屋 茂	あらためて糖尿病合併症を考 える	宇部市医師会館	45名	宇部市糖尿病を勉 強する会
H27.2	保健管理センター 講師 松原敏郎	睡眠薬について	宇部市		第33回市民と考 える医療フォーラム
H27.2.18	保健管理センター 准教授 森本宏志	衛生管理者能力向上セミナー	小郡地域交流セン ター	50名	山口県労働基準協 会
H27.2.22	保健管理センター 教授 奥屋 茂	糖尿病合併症の最近の話題	サンライフ萩	100名	萩市糖尿病市民公 開講座
H27.3	保健管理センター 講師 松原敏郎	自殺予防のためのかかりつけ 医研修会	柳井市		柳井かかりつけ医 研修会
H27.3	保健管理センター 講師 松原敏郎	学生の自殺予防のために～教 職員の心得と役割～	宇部市		宇部高専

2)平成27年度 (H27.4.1～H28.3.31の期間内)

年月日	講師	演題	場所	参加人数	備考
H27.4.6	保健管理センター 保健師 中原敦子	保健管理センターの利用方法 について	医学部総合研究棟 S1講義室	130名	保健学科新入生オ リエンテーション
H27.4.7	保健管理センター 准教授 森本宏志	保健管理センターの利用方法 について	医学部M1講義室	130名	医学科新入生オリ エンテーション
H27.4.8	保健管理センター 准教授 森本宏志	授業における安全衛生と TA・SAの責務について	山口大学事務局 2号館第2会議室	180名	山口大学共通教育 TA・SA研修会
H27.4.8	保健管理センター 保健師 中原敦子	保健管理センターの利用につ いて 安全衛生・健康について	医学部総合研究棟 S3講義室	80名	看護学専攻オリ エンテーション
H27.4.27	保健管理センター 保健師 中原敦子	事故が起こったときの応急処置	医学部講義棟A (1階)第1講義室	30名	化学物質および実 験廃液の取扱につ いての講習会
H27.5.8	保健管理センター 保健師 小林久美	事故が起こった時の応急処置	山口大学工学部 C11教室	234名	毒物劇物取扱講習会
H27.5.15	保健管理センター 准教授 森本宏志	安全衛生のABC	山口大学事務局 2号館第2会議室	30名	新規採用事務系職 員研修会
H27.6	保健管理センター 准教授 松原敏郎	米国モフィットがんセンターの FD研修について	宇部市		がんプロFD研修報 告会
H27.6	保健管理センター 准教授 松原敏郎	米国モフィットがんセンターの FD研修について、	岡山市		中国・四国広域がん プロ養成コンソー シアム平成27年度FD ワークショップ
H27.6	保健管理センター 准教授 松原敏郎	自殺予防とメンタルヘルス	山口市		山口県臨床心理士 会平成27年度第一 回全体研修会
H27.6.3	保健管理センター 保健師 森福織江	食中毒予防講話	共通教育1番教室	100名	七夕祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
H27.6.5	保健管理センター 准教授 森本宏志	生活リスクから学ぶ身近なリス クアセスメント	海峡メッセ下関	20名	山口産業保健総合 支援センター 産業保健セミナー
H27.6.19	保健管理センター 准教授 森本宏志 保健師 中原敦子	山口大学の安全衛生状況と完 全衛生目標及び計画について (小串キャンパス)	山口大学医学部 総合研究棟1階 S1講義室	80名	小串地区 安全衛生推進員 連絡会
H27.7.1	保健管理センター 保健師 梅本智子	事故が起こったときの応急処置	共通教育31番教室	20名	吉田地区化学物質取 扱講習会
H27.7.10	保健管理センター 保健師 森福織江	サマープログラムを健康に過ご すために	共通教育41番教 室	30名	山口大学 日本語・日 本文化サマープログ ラムオリエンテーシ ョン
H27.8.30	保健管理センター 教授 奥屋 茂	慢性合併症Ⅱ	山口県総合保健会 館	150名	山口県糖尿病療養 指導士講習会
H27.9.8	保健管理センター 准教授 森本宏志	職場におけるメンタルヘルスと 自殺予防対策を考える ー安全衛生教育の側面からー	周南地域地場産業 振興センター	15名	山口産業保健総合 支援センター 産業保健セミナー
H27.9.26	保健管理センター 教授 奥屋 茂	糖尿病について	岡山コンベンション センター	250名	日本糖尿病療養指 導士受講者用講習

					会
H27.9.29	保健管理センター 准教授 森本宏志	労働安全衛生について	山口大学医学部 霜仁会館	40名	山口大学新人教員 研修会
H27.10	保健管理センター 准教授 松原敏郎	山口県における自殺未遂者支 援の在り方研究の結果報告	山口市		山口県自殺対策連 絡協議会
H27.10.6	保健管理センター 保健師 森福織江	食中毒予防講話	保健管理センター 健康診断室	18名	姫山祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
H27.10.14	保健管理センター 教授 奥屋 茂	大学における精神障害の実態 と支援	人文・理学部大会 議室	50名	FD 研修会
H27.10.28	保健管理センター 保健師 小林久美	食中毒予防講話	山口大学工学部 D12 講義室	13 団体	常盤祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
H27.11.2	保健管理センター 准教授 森本宏志	駅伝関係者のための簡易心肺 蘇生法	共通教育 1 番教室	30名	第 62 回学長杯争奪 駅伝大会前の救急 講習会
H27.11.6	保健管理センター 准教授 森本宏志	過重労働対策と面接手法	山口産業保健総合 支援センター	20名	山口産業保健総合 支援センター 産業保健セミナー
H27.11.11	保健管理センター 教授 奥屋 茂	大学における精神障害の実態 と支援	工学部D11 講義室	60名	FD 研修会
H27.12.11	保健管理センター 准教授 森本宏志	ライフキャリアとコーチングの観 点からみたメンタルヘルス対策	ココランド宇部	15名	山口産業保健総合 支援センター 産業保健セミナー
H28.2	保健管理センター 准教授 松原敏郎	認知症の予防	東京		第 5 回予防医学指 導士研修会
H28.2	保健管理センター 准教授 松原敏郎	自殺未遂者への支援	防府市		平成27年度自殺未 遂者支援研修
H28.2.18	保健管理センター 准教授 森本宏志	衛生管理者能力向上セミナー	小郡地域交流セン ター	50名	山口県労働基準協 会
H28.3	保健管理センター 准教授 松原敏郎	せん妄のトータルマネージメン ト	山口市		第 231 回西京病薬 研究会
H28.3.6	保健管理センター 教授 奥屋 茂	糖尿病合併症の最近の話題	岩国市民会館	120名	岩国市糖尿病市民 公開講座
H28.3.10	保健管理センター 准教授 森本宏志	ストレスチェック及び長時間労 働者の面接手法について	山口市医師会館	100名	山口産業保健総合 支援センター 産業保健セミナー

4. 医療講習会

保健管理センターでは、山口大学体育会所属の学生に対して、保健衛生に関する知識の普及の一環として、年1回学生との共催で医療講習会を実施している。目的は、「課外活動における事故防止、競技能力向上及び健康の自己管理」であり、主にスポーツ医学に関連した知識を習得することを前提に、学内外から講師を招いている。各回の対象者数(定員)は約120名で、内容は講演会形式や実技、質疑応答などで、会の進行(司会)は保健管理センター所長が担当している。下表に、最近10年間の開催内容と講師を示した。

年度	年月日	講師	演題	場所
平成18年度	H18.12.13	山口大学医学部保健学科 教授 松田 昌子	運動能力における男女差 -競技力向上の視点から-	共通教育棟2番教室
平成19年度	H19.12.12	中村整形外科医院 中村 克巳	スポーツ障害の予防と処置 -スポーツドクターの立場から-	共通教育棟2番教室
平成20年度	H20.12.17	大塚製薬佐賀研究所 所長 濱田 広一郎	スポーツ活動におけるコンディ ションづくり	共通教育棟2番教室
平成21年度	H21.12.16	福岡大学スポーツ科学部 准教授 山口 幸生	スポーツ心理学の視点から の競技力向上	経済第1大講義室
平成22年度	H22.12.14	(有)ヒロコポレーション 代表取締役 和木 宏泰	フルマラソン20代で3時間を切る!! 80代で完走する!!あなたはどちら のスポーツマンを目指しますか?	共通教育棟2番教室
平成23年度	H23.12.13	山口大学医学部附属病院 整形外科 助教 小笠 博義	体育会学生に知って欲しい スポーツ整形外科学	経済第1大講義室
平成24年度	H24.12.4	(公財)山口県体育協会 やまぐちスポーツ医・科学サポ ートセンター 小松 健一	実力発揮のためのメンタル トレーニング	経済第2大講義室
平成25年度	H25.12.10	特別養護老人ホーム サンライフ山陽 管理栄養士 中村 由佳里	スポーツ活動を支える食事 -体づくり・コンディショニング と栄養管理-	経済第1大講義室
平成26年度	H26.12.9	日本体育協会認定 アスレチックトレーナー 米澤 和洋	スポーツ障害の予防とその 実際 ~ウォームアップ、クールダ ウン、コレクティブエクササイズ~	第1体育館
平成27年度	H27.12.10	医療法人社団 水生会 柴田病院 リハビリテーション部 理学療法士 上条 寛司	テーピング ~足関節を中心に~	大学会館会議室

5. 保健管理センター便り発行

保健管理センターでは、山口大学の職員及び学生に向けて、健康情報及び健康に関する行事や種々のサービスの利用に関するインフォメーションの提供を目的として、「保健管理センター便り」を年5回(新入生特集号、5月、7月、10月、1月)発行している。多くの人に読んでもらえることを考慮して、表紙にはワンポイントヘルスアドバイスの内容に応じたカラーイラストを掲載している。なお紙媒体での発行は新入生特集号のみとし、他号はWeb版で発行している。

1)平成26年度

発行月	NO.	ワンポイントアドバイス	本文1	本文2	コラム
5月	237	睡眠時間を見直そう！	体を動かそう！ ～運動の効用～ 医師 奥屋 茂	肩こりに悩んでいませんか？ ～肩こりの原因と対策～ 保健師 藤勝 綾香	健診結果(Web通知)のお知らせ
7月	238	細菌性食中毒を予防しよう	メント・モリ、今日この頃 始まったばかりの人生のために… 医師 平野 均	「PMS(月経前症候群)について」 ～セルフケアを身につけよう～ 保健師 森福 織江	暑さに負けない体づくり
10月	239	危険ドラッグについて	過敏性腸症候群(IBS) 医師 山本 直樹	ストップ！ アルコールハラスメント 保健師 小林 久美	目の愛護デー
1月	240	咳エチケットを守ろう！	生活リスクマネジメント・チャンスマネジメント思考のすすめ 医師 森本 宏志	運動習慣について 保健師 中原 敦子	手を洗いましょう
3月	241	健康ガイド(新入生特集号)			

2)平成27年度

発行月	NO.	ワンポイントアドバイス	本文1	本文2	コラム
5月	242	世界禁煙デー	感冒 医師 山本 直樹	「月経痛について」 保健師 森福 織江	新任医師の紹介
7月	243	熱中症に注意 (重症度による分類)	中東呼吸器症候群(MERS) 医師 奥屋 茂	いろいろな禁煙方法 保健師 小林 久美	熱中症予防対策
10月	244	高血圧について	「障害者差別解消法」を考える ～国際生活機能分類時代の個性・多様性と障害観～ 医師 森本 宏志	便秘解消に向けて 保健師 中原 敦子	高血圧の方の生活習慣の注意
1月	245	インフルエンザについて	不眠症 医師 松原 敏郎	ストレスマネジメント(18) 『笑い』の効用 保健師 梅本 智子	インフルエンザにかからない・うつさない
3月	246	健康ガイド(新入生特集号)			